再認定に向け団結深める

三陸ジオパークフォーラム　11月16、17日

1／久慈渓流の鏡岩で大地の成り立ちについて説明する北三陸ジオガイドクラブの金久由美子ガイド　**2**／条件付き再認定から正式な再認定までの取り組みを講演した原下仁田町長　**3**／ジオパーク授業の取り組みについてクイズを交えながら発表する三崎中学校の生徒たち

三陸ジオパークの構成市町村が一堂に会する「三陸ジオパークフォーラム」が久慈地域を主会場として行われました。16日は、３コースに分かれ三陸の大地の魅力を満喫するジオツアーを開催。参加者は久慈渓流や琥珀博物館などをガイドの解説付きで巡りました。翌17日は、市内催事場でフォーラムが行われ約150人が参加。三崎中学校や北三陸認定ジオガイドクラブの事例発表や原秀男下仁田町長が基調講演を行いました。三陸ジオパークは青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの沿岸16市町村で構成され、平成25年に日本ジオパークに登録。平成29年の再審査で条件付き再認定となり、平成31年の再審査に向けさまざまな取り組みを進めています。

アレン女史が久慈に遺したもの

地元学講演会　11月２日

アレン女史との思い出を講演する目黒氏

久慈商工会議所が市内催事場で地元学講演会を開催。元アレン国際短期大学学長の目黒安子氏が「アレン女史が遺したもの」と題して、アレン短大の閉校などについて講演を行いました。目黒氏は「東北文化学園大学を活用し、一緒にまちづくりをしてほしいです」と思いを語りました。

耐震対策の重要さを知る

木造住宅の耐震対策普及出前授業　11月13日

液状化現象を模型で学習（左）木の骨組みを力いっぱいゆらす生徒（上）

長内中学校１年生74人を対象に、木造住宅の耐震出前授業を開催。大きな模型を使った耐震体験や液状化現象の実験が行われました。生徒たちは「筋交いの有無で揺れ方がまったく違ってびっくりしました」と耐震対策の重要さについて体験を通して学びました。

地域それぞれの文化祭

長内町民郷土祭　11月10日

１本の長いのり巻きを協力してつくる子どもたち

10月下旬から11月にかけて、市内の各地区市民センター・公民館で文化祭が開催。長内市民センターでは11月10日に長内町民郷土祭が行われ、大きなのり巻きづくりなどのイベントやさまざまな作品が展示されました。各地区でも、それぞれ特徴のあるイベントが催され、地域がにぎわいました。

交流と親子の絆を深める

小久慈まちづくり協議会 - 誂子平ウォーキング　11月３日

ミニサッカーで真剣勝負を繰り広げる子どもたち

誂子平（あつらごたい）ウォーキングに幼児・小学生21人を含む51人が参加。青空の下約4㌔をウォーキングしました。昼食は子どもたちが調理したカレーとシチュー。美味しくできあがりみんな満腹の様子でした。食後のミニサッカーや親子対抗玉入れでは歓声が響き、楽しい一日となりました。（大久保）

来年の春に向けて

小袖小学校　秋の花植え　11月６日

チューリップの球根を笑顔で植える児童たち

小袖小学校の全校児童27人が花壇の花植えを実施。花育アドバイザーの佐藤幸子さんに植え方を教わった児童たちは、シャベルで穴を掘り、チューリップの球根やさまざまな花苗を協力して植えました。子どもたちは「春にチューリップが咲くのが楽しみです！」と笑顔を浮かべました。

侍浜の魅力が集結

第３回侍マルシェ　11月10、11日

多くの来場者が訪れブースには長蛇の列ができました

侍浜市民センターで「第３回侍マルシェ」が開催され、２日間で約2,400人が来場。各ブースには開幕と同時に長蛇の列ができ、県内外からのたくさんの人で埋め尽くされ、大いににぎわいました。2日目には同敷地内の体育館にて町民文化祭も行われました。（森岩）

久慈はつらつクラブ躍進中

「白樺大学」侍浜地区学級大盛況　11月16日

電話・メール・ハガキでのサギに注意！　家族や友人は大丈夫ですか？

高齢者講座「白樺大学」が開催され、市内各地から70人が侍浜市民センターに参集。今回の講座は、高齢者向けの交通安全と防犯講演を行いました。参加者は寸劇を交えた講演に笑いながらも真剣に受講。最後は侍浜町老連が準備した「鮭汁」を会食し、交流を深めた一日でした。（梅沢）

花を通じた復興支援

花キューピット復興イベント in 久慈　10月30日

真剣な眼差しで作業する園児（上）園児と講師みんなで記念撮影（右）

川貫保育園でフラワーアレンジメント教室が開催され園児35人が花いけに挑戦しました。この教室は花キューピットが復興事業の一環で実施。市内では初開催となります。参加した砂子咲水（さな）さんは「花を飾るのは初めてだったけれど、うまくできました」と笑顔で花を掲げました。

地域づくりの成功とは

地域づくり交流・連携フォーラム　10月27日

地域づくりの成功例について講演する大島先生

中央市民センターで「地域づくり交流・連携フォーラム」が開催され、地域づくり団体など約40人が参加しました。講師を務めた、日本ＮＰＯセンターの大島誠副代表理事は「地域づくりは、地域外からお金の獲得などがなければ成功とはいえません」と事例を交え講演しました。

地域への奉仕に表彰

大川目中学校「小さな親切実行章」　11月６日

賞状を掲げる大川目中学校生徒会の皆さん

大川目中学校が小さな親切実行章を受章。この受章は、同校が養護老人ホーム養寿荘への慰問交流が推薦されたものです。生徒会長の面代陸さんは「地域の人たちに喜こんでもらえてうれしい。活動を継続しながらも新しいことにチャレンジしてほしいです」と後輩にエールを送りました。

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
圖地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢政隆リポーター

大久保勝男リポーター

森岩　航リポーター

大須賀　匡リポーター

櫛桁　允法リポーター